

\OPEN/NUMAZU

This issue is "MUSIC"

2023
vol. 01
TAKE FREE



ストリートピアノがもたらすもの

昨年度、沼津仲見世商店街で実施したOPEN NUMAZUで設置したストリートピアノ。その反響は大きく、今後も常設してほしいという多くの声をうけ、沼津仲見世商店街振興組合は自主的にストリートピアノを運用していくことを決めた。「くつろげる空間として、ストリートピアノが定着してほしい。」周辺店舗もピアノの自然な音色が心地よいと感じているそう。商店街では毎日、BGMに有線放送を流しているが、ストリートピアノの音色も、当たり前のように空間に溶け込んでいけば、他にはない、この商店街だけの訪れたいくなる魅力的な日常になるに違いない。



沼津仲見世商店街 販促委員のみなさん



「ストリートピアノは、音楽に対する敷居が低く誰でもピアノに触れられる気軽さが魅力。弾く側は、発表会とは違い、楽譜も曲順もなく自由に弾くことができる披露の場。聴く側は、興味がなかった曲にふと出会える機会にもなる。通りすがりに立ち止まったりしてくれと、「あの人が聞いてくれている！」と嬉しくなるんですよ。地域の楽器店として、音楽が場所も人も境界なくあふれ出すような日常をつくれたら、と思っています。」
大手町・タンザワ楽器 小林さん

音楽あふれる日常

まちが、ひらいていく。

自由に使えるベンチや椅子などが設置された滞在空間 まちにひらいた取組みや敷地を活用しての店舗など



新仲見世商店街



アーケード名店街



あげつち商店街



OPEN NUMAZUは、まちなかの公共空間を活用することなどで生まれる風景を「日常」へとつなげ、ヒト中心のまちなかを創り出していくプロジェクトです。

商店街や店舗前に、誰でも自由に使えるイス・テーブルの設置や出店などを行い、歩きたくなる、過ごしたくなる空間づくりを実践しています。これからのまちなかの新たな景色を一緒につくっていきませんか？



かがわ風のテラス

INFORMATION 毎月第3週の金・土・日(12月のみ第2週)に、仲見世商店街の旧マルサン書店前の滞在空間等を活用して、出店やイベントなど、公共空間活用のトライアルを行います。

\OPEN/NUMAZU
weekend
2023

7月のテーマは
ミュージック

7/14.fri ▶ 7/16.sun
Day time 11:00~15:00 / Night time 17:00~20:00

CONTENTS

【ストリートピアノ】沼津仲見世商店街
【演奏】Piano 峯松ゆき Violin 清田周子、沼津市立高マンドリンクラブOB
【ダンス】Studio R+B
【DJ】Music&Bar Calle5411 P02 P03でインタビュー! など
*タイムテーブルはSNSをご確認ください

【出店】11:00~14:00
LOTUS SWEETS、はなぱん、Paku Paku、古安、タウン・イン・タウン315 by かつばのスタジオ、NUMAZU COFFEE LAB、菓子工房espresso、とんめし、Archipelago Roastery など

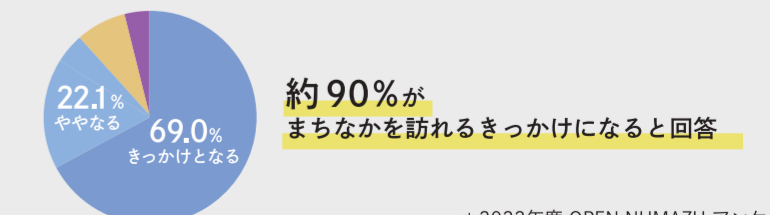
最新情報ははこちら
<https://it.link/opennumazu>

前回までのOPEN NUMAZUを検証!

誰でも使える椅子やテーブルを設置したこと等による、滞在時間の普段からの変化は？



OPEN NUMAZUのような空間づくりが、まちなかを訪れるきっかけとなるか？



*2022年度 OPEN NUMAZU アンケート調査結果

JOIN!

OPEN NUMAZUの取り組みに興味がある方はお気軽にご連絡ください。心地よいまちなかを一緒につくっていきましょう!
OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail open.numazu@gmail.com

\OPEN/NUMAZU
タブロイド 2023年 6月発行

発行：OPEN NUMAZU 運営事務局 沼津市(都市計画部 まちづくり政策課) UR都市機構中部支社(都市再生業務部 まちづくり支援課)
Special thanks：沼津仲見世商店街振興組合・タンザワ楽器・めし処 魚島木・Music&Bar Calle5411・THE CHAMBER/沼津高留所
お問合せ：OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail open.numazu@gmail.com



音楽には空間を変える力がある

流す音楽でそこに来る客層を変えたり、マーケティングにも大いに可能性がある。その場に人を滞在させたり、客層をコントロールしたり、空間をプロデュースする力が音楽にはあるのではないかと。音楽で主張もできるし、裏方(背景)にもなる。公共空間などは、みんなの場所だからこそ、音楽の役割に期待したい。



大手町・Music&Bar Calle5411
山賀裕二さん



西条町・めし処 魚島木
佐々木優 (DORAMARU) さん

まちなかと音楽の関係

音楽は、コミュニケーション。どちらかが一方的に主張してもうまくいかず、いい音楽も音量レベルで台無しになったりもする。お店の中から外に音楽が広がり、まちなかで音が重なりBGMのように自然と耳に入ってくるくらいがちょうど良いのかもしれない。その場所と雰囲気に合わせてそれぞれの音を出せば、それは最高。音楽は、世代関係なく万人が馴染みのあるコンテンツだから、音楽から繋がることへの敷居が低いのが良いところ。いい塩梅の音楽は、まちなかでも無意識レベルの居心地の良さをつくっている。

anywhere
anytime

ムイシキレベルノココチヨサ



イ
ツ
モ
ノ
ケ
シ
キ
ガ
チ
ガ
ッ
テ
ミ
エ
ル



沼津MPC：佐々木(DORAMARU)さんによる、沼津のさまざまな場所を音楽でスケッチするように即興でMPCを演奏するコンセプトアート。風景のなかに音楽を落書きするようなインスタレーションは、いつもの景色をガラリと違った風景に見せる。



沼津MPC
YouTubeチャンネル



狩野川に面した、THE CHAMBER/沼津蒸留所(上土町)では、敷地内のイベントをかのがわ風のテラスの滞留空間にもしみ出させ、エリア一帯ににぎわいを生み出している。ご近所さんも、外からの来訪者も一緒になって思い思いに楽しんでいる風景。そんな空間に一体感を出させているのは、時間の移り変わりと共にセレクトされたグッドミュージック。空間がより一層心地よくピースフルに感じられる。まさに音楽は、必要だ。

